西林寺だより

発行元
西林寺門徒総代会
広島県安芸郡坂町
坂東３－14－17
(082)885-0018
西　林　寺
https://sairinji.or.jp

境内満開の桜

杖のことば

今、いのちが

あなたを生きている

近現代150年の歩み（4）

13世普現在住の時、大正10（1921）年に、大谷尊由御門主代行の御巡回（随行長松島善海）がありました。この時、帰敬式受式（法名をいただく儀式）を希望する門信徒が、当山本堂から中村地区の入り口まで長蛇の列をつくりました。昭和20（1945）年にも勝如門主の御巡回が計画されましたが、戦局の悪化にともない中止となりました。

また普現は、大正9（1920）年より2期8年、本願寺の総代会衆（国でいう代議士）を拝命し、大正12（1923）年には、白無紋法衣終身着用を許され、備後教区菅事就任・門主代行として和歌山・兵庫両県下を巡回されました。

昭和2（1927）年には、本願寺特選会衆を拝命されました。戦時中の梵鐘の供出を免れたのも普現の苦心によるものです。まさに勧学普厳に次ぐ当山中興の傑僧です。

昭和24年に往生されますが、その功勲により特授二等が追贈されました。

第13世住職普現

3年ぶりの御正忌報恩講

コロナ禍で中止になっていた、真宗門徒にとって最も大切な「御正忌報恩講法座」が、西昭寺のご住職をご講師に迎えて、3年振りに勤まりました。

大逮夜（15日夜席）と御正当（16日昼席）の二座に亘る『御伝鈔』拝読や「おぜんざい」も久しぶりで、御開山聖人のご遺徳を偲び「知恩」の確認をしながらも、ほっこりとしたひとときの尊いご縁でした。

「御正忌報恩講法座」と「盂蘭盆会」に併せて、仏教婦人会の皆さまに「御鉢米（西林寺のご尊前へのお供え）」をついでいただきました。

ご懇念ありがとうございました。

花まつりのご案内

4月2日（日）13時30分より、本堂でお釈迦さまの誕生をお祝いする子どもの集いを開催します。みんなの大好きなお菓子を用意して待っています。

花御堂の中にご安置されたお釈迦さまの誕生仏に、甘茶をかけてご誕生をお祝いしましょう。

消火訓練

2月24日、仏教婦人会役員勉強会の日に併せて、消火訓練を行いました。

仏婦役員だけでなく、住職・寺族・法務員に総代・仏壮の有志30人が、安芸消防署坂出張所の4人の消防士の方から防火・防災・消火器の使用方法等について学び、実際に消火器の放水の実地練習をしました。

コロナ禍で3年ぶりの消火訓練でした。

法座案内

春季永代経法座（えいたいきょう）
四月　十八日(火)昼席より
二十日(木)朝席まで
＊日程が変更になりました
講　師　三原市大和町
浄楽寺　栗原一乗　師

宗祖降誕会（しゅうそこうたんえ）
五月　二十　日(土)昼席より
二十一日(日)昼席まで
講　師　呉市吉浦東町
勝法寺　部谷一水　師

朝席7：00～・昼席13：15～・夜席19：30

訂正

『西林寺だより』27号4面「寄付御礼」のご芳名に誤植がありました。

（誤）森川　珠江　様→（正）森河　珠江　様
（誤）森川大三郎様→（正）森河大三郎様

編集後記

自己責任という四字熟語が多用されるようになって久しい。以前は「これと思ったらとことんやってみろ。責任はとってやる」といった雰囲気が社会や家庭の中にあったのだが。

コロナ対策のマスク着用が原則自己判断に委ねられた。行き過ぎた非難が起きないことを願うばかりである。